

結 果 の 概 要

I 刑務所・拘置所等

1 被収容者

(1) 収容状況

最近 10 年間の全国の刑務所及び拘置所の 1 日平均収容人員の推移は、第 1 表のとおりである。平成 5 年に増加に転じて以降、年々増加していたが、同 20 年から連続して減少しており、令和 4 年は前年に比べ 2,514 人（5.5%）減少した 43,166 人（男 39,342 人、女 3,824 人）となっている。

第 1 表 1 日平均収容人員の推移										
区 分	平成25年	26	27	28	29	30	令和元年	2	3	4
総 数	64,890	61,768	59,670	57,369	54,876	51,947	49,562	47,332	45,680	43,166
男	59,718	56,734	54,689	52,565	50,255	47,623	45,448	43,309	41,694	39,342
女	5,172	5,034	4,981	4,805	4,620	4,323	4,114	4,023	3,985	3,824
対 前 年 比	-5.4	-4.8	-3.4	-3.9	-4.3	-5.3	-4.6	-4.5	-3.5	-5.5

(注) 刑務所・拘置所等（以下記載を省略）の 2 表（法務省ホームページにおける統計表番号「22-00-02」）。以下統計表番号のみを記載）参照

令和 4 年における 1 日平均収容人員の内訳は、第 2 表のとおりである。被収容者の種別で見ると、受刑者が 37,326 人（86.5%）、次いで、被告人が 5,119 人（11.9 %）、労役場留置者が 515 人（1.2%）の順となっている。

第 2 表 1 日平均収容人員の内訳							
区 分	総 数	受 刑 者	死 刑 確 定 者	被 告 人	被 疑 者	労 役 場 留 置 者	そ の 他
人 員	43,166	37,326	107	5,119	96	515	2
(構 成 比)	(100.0)	(86.5)	(0.2)	(11.9)	(0.2)	(1.2)	(0.0)
対 前 年 比	-5.5	-5.0	-2.7	-8.1	-8.6	-11.5	-31.3

(注) 2 表（「22-00-02」）参照

(2) 年末収容人員

最近 10 年間の年末における収容人員の推移は、第 3 表のとおりである。収容率（年末における収容定員に対する年末収容人員の比率）は、平成 13 年から同 18 年まで 6 年連続して 100%を超過していたが、同 19 年から 16 年連続して 100%を下回っており、令和 4 年は初めて 50%を下回っている。

第 3 表 年末収容人員の推移										
区 分	平成25年	26	27	28	29	30	令和元年	2	3	4
年末収容人員	62,971	60,486	58,497	55,967	53,233	50,578	48,429	46,524	44,545	41,540
収 容 定 員	90,536	90,146	89,807	89,395	88,670	88,591	87,825	87,679	88,250	85,680
収 容 率	69.6	67.1	65.1	62.6	60.0	57.1	55.1	53.1	50.5	48.5

(注) 3 表（「22-00-03」）参照

(3) 入・出所人員

最近 10 年間の入・出所人員の推移は、第 4 表のとおりである。刑務所及び拘置所の入所人員は、平成 16 年以降減少し、令和 4 年は前年に比べ 3,513 人（11.7%）減少した 26,512 人（男 23,615 人、女 2,897 人）となっている。出所人員も、平成 17 年以降減少し、令和 4 年は前年に比べ 2,487 人（7.8%）減少した 29,517 人（男 26,400 人、女 3,117

人) となっている。

第4表 入・出所人員の推移

区 分	平成25年	26	27	28	29	30	令和元年	2	3	4
入 所 人 員 (指 数)	43,379 (100)	41,838 (96)	41,060 (95)	39,043 (90)	36,994 (85)	36,026 (83)	34,615 (80)	31,719 (73)	30,025 (69)	26,512 (61)
出 所 人 員 (指 数)	47,416 (100)	44,323 (93)	43,049 (91)	41,573 (88)	39,728 (84)	38,680 (82)	36,764 (78)	33,624 (71)	32,004 (67)	29,517 (62)

(注) 14表(「22-00-14」)参照

(4) 外国人被收容者

最近10年間の年末收容人員のうち、外国人被收容者人員の推移は、第5表のとおりである。令和4年の年末における外国人被收容者人員は、前年に比べ27人(1.0%)増加した2,761人となり、外国人受刑者人員は、45人(2.1%)増加した2,181人となっている。

第5表 年末收容人員のうち外国人被收容者人員の推移

区 分	平成25年	26	27	28	29	30	令和元年	2	3	4
年末收容人員(A)	62,971	60,486	58,497	55,967	53,233	50,578	48,429	46,524	44,545	41,540
うち、外国人被收容者人員(B)	3,657	3,445	3,226	3,041	2,941	2,851	2,862	2,888	2,734	2,761
うち、外国人受刑者人員	3,044	2,848	2,670	2,491	2,384	2,281	2,174	2,150	2,136	2,181
年末收容人員に占める比率 〔(B)/(A)×100〕	5.8	5.7	5.5	5.4	5.5	5.6	5.9	6.2	6.1	6.6

(注) 3表(「22-00-03」)及び8表(「22-00-08」)参照

令和4年の年末在所外国人被收容者の内訳は、第6表のとおりである。

このうち、来日外国人は2,095人であり、外国人被收容者年末收容人員に占める割合は75.9%となっている。

第6表 年末在所外国人被收容者の内訳

区 分	総 数	受 刑 者	未 決 拘 禁 者	そ の 他
外 国 人 被 収 容 者 年 末 収 容 人 員	2,761	2,181	512	68
うち、来日外国人	2,095	1,604	431	60

(注) 8表(「22-00-08」)及び9表(「22-00-09」)参照

令和4年の年末在所来日外国人被收容者の国籍は、第7表のとおりである。国別の人員総数は、中国が514人(24.5%)と最も多く、次いで、ベトナムが359人(17.1%)、ブラジルが188人(9.0%)、タイが141人(6.7%)の順となっている。

第7表 年末在所来日外国人被收容者の国籍

区 分	総数	中国	ベトナム	ブラジル	タイ	フィリピン	イラン	韓国・朝鮮	マレーシア	メキシコ	アメリカ合衆国	ナイジェリア	ペルー	その他
人 員 数	2,095	514	359	188	141	89	75	69	71	50	48	46	64	381
男	1,764	437	328	172	40	64	74	65	46	42	40	46	59	351
女	331	77	31	16	101	25	1	4	25	8	8	—	5	30
構 成 比 率	100.0	24.5	17.1	9.0	6.7	4.2	3.6	3.3	3.4	2.4	2.3	2.2	3.1	18.2
男	100.0	24.8	18.6	9.8	2.3	3.6	4.2	3.7	2.6	2.4	2.3	2.6	3.3	19.9
女	100.0	23.3	9.4	4.8	30.5	7.6	0.3	1.2	7.6	2.4	2.4	—	1.5	9.1

(注) 9表(「22-00-09」)参照

2 新受刑者

(1) 新受刑者の収容状況

最近 10 年間の新受刑者人員の推移は、第 8 表のとおりである。新受刑者人員の総数は、平成 4 年から同 18 年まで 15 年連続して増加していたが、同 19 年から 16 年連続して減少しており、令和 4 年は前年と比べ 1,692 人（10.5％）減少した 14,460 人（男 12,906 人、女 1,554 人）となっている。

第 8 表 新受刑者人員の推移											
区	分	平成 25 年	26	27	28	29	30	令和元年	2	3	4
人	員										
総	数										
		22,755	21,866	21,539	20,467	19,336	18,272	17,464	16,620	16,152	14,460
男		20,643	19,744	19,415	18,462	17,444	16,503	15,746	14,850	14,486	12,906
女		2,112	2,122	2,124	2,005	1,892	1,769	1,718	1,770	1,666	1,554
指	数										
総		100	96	95	90	85	80	77	73	71	64
男		100	96	94	89	85	80	76	72	70	63
女		100	100	101	95	90	84	81	84	79	74

（注） 18 表（「22-00-18」）参照

(2) 新受刑者の年齢

令和 4 年における新受刑者の年齢別人員は、第 9 表のとおりである。年齢別の構成比で見ると、50～54 歳が 12.3％（1,776 人）と最も高く、次いで 45～49 歳が 12.1％（1,745 人）、40～44 歳が 11.3％（1,639 人）の順となっている。

第 9 表 新受刑者の年齢別人員														
区	分	総数	20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上
人	員													
総	数													
		14,460	14	1,004	1,258	1,305	1,499	1,639	1,745	1,776	1,303	892	683	1,342
男		12,906	14	931	1,173	1,183	1,347	1,472	1,533	1,587	1,173	801	606	1,086
女		1,554	-	73	85	122	152	167	212	189	130	91	77	256
構	比													
成														
総		100.0	0.1	6.9	8.7	9.0	10.4	11.3	12.1	12.3	9.0	6.2	4.7	9.3
男		100.0	0.1	7.2	9.1	9.2	10.4	11.4	11.9	12.3	9.1	6.2	4.7	8.4
女		100.0	-	4.7	5.5	7.9	9.8	10.7	13.6	12.2	8.4	5.9	5.0	16.5
前	比													
年														
総		-10.5	-12.5	-6.4	-11.2	-11.0	-10.0	-15.3	-12.4	-4.9	-9.3	-15.1	-20.4	-2.4
男		-10.9	-12.5	-5.8	-10.4	-10.6	-10.4	-15.1	-14.2	-5.4	-9.8	-15.1	-20.9	-4.7
女		-6.7	-	-14.1	-21.3	-14.1	-5.6	-17.3	3.4	-0.5	-5.1	-15.7	-16.3	8.5

（注） 22 表（「22-00-22」）参照

また、最近 10 年間の新受刑者のうち 60 歳以上人員の推移は、第 10 表のとおりである。令和 4 年における新受刑者のうち 60 歳以上人員の総数は、前年と比べ 367 人減少した 2,917 人（男 2,493 人、女 424 人）となっている。

第 10 表 新受刑者のうち 60 歳以上人員の推移											
区	分	平成 25 年	26	27	28	29	30	令和元年	2	3	4
人	員										
総	数										
		3,962	3,771	3,689	3,750	3,489	3,294	3,296	3,160	3,284	2,917
男		3,507	3,314	3,250	3,278	2,999	2,897	2,869	2,726	2,848	2,493
女		455	457	439	472	490	397	427	434	436	424
構	比										
成											
総		17.4	17.2	17.1	18.3	18.0	18.0	18.9	19.0	20.3	20.2
男		17.0	16.8	16.7	17.8	17.2	17.6	18.2	18.4	19.7	19.3
女		21.5	21.5	20.7	23.5	25.9	22.4	24.9	24.5	26.2	27.3

（注） 22 表（「22-00-22」）参照

(3) 新受刑者の罪名

令和4年における新受刑者の罪名別人員は、第11表のとおりである。罪名別の構成比で見ると、窃盗が36.4%（5,259人）と最も高く、次いで、覚醒剤取締法違反が22.6%（3,266人）、詐欺が9.3%（1,343人）、道路交通法違反が5.4%（787人）、傷害が4.2%（602人）、強制わいせつ・強制性交等が3.6%（516人）の順となっている。

第11表 新受刑者の罪名別人員

区	分	総数	構成比	男	構成比	女	構成比
総刑	法犯	14,460	100.0	12,906	100.0	1,554	100.0
放文強賭殺傷危過強詐恐横暴そ	書偽造火等 制わいせつ・強制性交 博・富制く 陰運転致死 失運転致死 領・背任 力行為等处罰に関する法律 の他	9,438	65.3	8,395	65.0	1,043	67.1
		78	0.5	71	0.6	7	0.5
		45	0.3	44	0.3	1	0.1
		516	3.6	516	4.0	-	-
		13	0.1	13	0.1	-	-
		170	1.2	145	1.1	25	1.6
		602	4.2	582	4.5	20	1.3
		49	0.3	46	0.4	3	0.2
		195	1.3	188	1.5	7	0.5
		5,259	36.4	4,462	34.6	797	51.3
		270	1.9	263	2.0	7	0.5
		1,343	9.3	1,211	9.4	132	8.5
		61	0.4	61	0.5	-	-
		171	1.2	147	1.1	24	1.5
		96	0.7	95	0.7	1	0.1
		570	3.9	551	4.3	19	1.2
特	別法犯	5,022	34.7	4,511	35.0	511	32.9
銃砲刀剣類所持等取締法		38	0.3	36	0.3	2	0.1
銃及春防神取締法		9	0.1	8	0.1	1	0.1
麻薬及び向精神薬取締法		86	0.6	83	0.6	3	0.2
覚醒剤取引通定法		3,266	22.6	2,844	22.0	422	27.2
道路出入国管理及び難民認定法		787	5.4	740	5.7	47	3.0
その他		26	0.2	23	0.2	3	0.2
		810	5.6	777	6.0	33	2.1

(注) 1 「強制わいせつ・強制性交等」にはそれぞれの致死傷を、「傷害」には傷害致死及び暴行を、「過失運転致死傷」には業務上過失致死傷及び重過失致死傷を、「強盗」には強盗致死傷及び強盗強制性交・同致死を含む。
2 18表(「22-00-18」)参照

さらに、男女別に上位4位までの罪名で見ると、男女ともに、窃盗、覚醒剤取締法違反、詐欺、道路交通法違反の順となっている。

なお、最近 10 年間の新受刑者のうち、覚醒剤取締法違反の人員の推移は、第 12 表のとおりである。令和 4 年における覚醒剤取締法違反の人員総数は前年と比べ 805 人（19.8%）減少した 3,266 人（男 2,844 人、女 422 人）となっている。

第12表 新受刑者のうち覚醒剤取締法違反の人員の推移

区分	分員数	平成25年	26	27	28	29	30	令和元年	2	3	4
		第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第8次	第9次	第10次
区人総		5,990	6,016	5,991	5,580	5,355	4,849	4,378	4,367	4,071	3,266
男女		5,182	5,206	5,162	4,842	4,661	4,166	3,811	3,735	3,530	2,844
成		808	810	829	738	694	683	567	632	541	422
構総	比数	26.3	27.5	27.8	27.3	27.7	26.5	25.1	26.3	25.2	22.6
男女		25.1	26.4	26.6	26.2	26.7	25.2	24.2	25.2	24.4	22.0
		38.3	38.2	39.0	36.8	36.7	38.6	33.0	35.7	32.5	27.2

(注) 18表 (「22-00-18」) 参照

(4) 新受刑者の刑名・刑期

令和4年における新受刑者の刑名別人員は、第13表のとおりである。

第13表 新受刑者の刑名別人員						
区	分	総	数	懲	役	禁
人	員	14,460	14,410	47	2	1
(構成比)		(100.0)	(99.7)	(0.3)	(0.0)	(0.0)

(注) 19表(「22-00-19」)参照

このうち、懲役及び禁錮受刑者の刑期別人員は、第14表のとおりである。懲役受刑者の刑期別人員は、2年以下が4,915人(34.1%)と最も多く、次いで、3年以下が3,584人(24.9%)、1年以下が3,085人(21.4%)となっている。禁錮受刑者については、2年以下が18人(38.3%)と最も多い。

第14表 新受刑者のうち懲役及び禁錮受刑者の刑期別人員								
区	分	総	数	1年以下	2年以下	3年以下	5年以下	5年を超える
懲	役	14,410	3,085	4,915	3,584	1,981	835	10
(構成比)		(100.0)	(21.4)	(34.1)	(24.9)	(13.7)	(5.8)	(0.1)
禁	錮	47	17	18	9	3	-	-
(構成比)		(100.0)	(36.2)	(38.3)	(19.1)	(6.4)	(-)	(-)

(注) 19表(「22-00-19」)参照

(5) 新受刑者の入所度数

令和4年における新受刑者の入所度数別人員は、第15表のとおりである。

第15表 新受刑者の入所度数別人員								
区	分	総	数	初	度	2	度	3
人	員	14,460	6,280	2,245	1,467	1,140	938	2,390
(構成比)		(100.0)	(43.4)	(15.5)	(10.1)	(7.9)	(6.5)	(16.5)
対	前	-10.5	-9.6	-8.5	-17.5	-9.9	-9.5	-10.5
年	比							

(注) 23表(「22-00-23」)参照

次に、最近10年間の新受刑者のうち、初入者及び再入者人員の推移は、第16表のとおりである。初入者は、平成5年以降増加傾向を示していたが、同17年から減少し始めた。また、同18年から16年連続して再入者が初入者を上回っている。

第16表 新受刑者のうち初入者・再入者人員の推移										
区	分	平成25年	26	27	28	29	30	令和元年	2	3
総	数	22,755	21,866	21,539	20,467	19,336	18,272	17,464	16,620	16,152
初	入	9,348	8,892	8,736	8,288	7,860	7,370	7,277	6,980	6,949
(構成比)		(41.1)	(40.7)	(40.6)	(40.5)	(40.6)	(40.3)	(41.7)	(42.0)	(43.0)
再	入	13,407	12,974	12,803	12,179	11,476	10,902	10,187	9,640	9,203
(構成比)		(58.9)	(59.3)	(59.4)	(59.5)	(59.4)	(59.7)	(58.3)	(58.0)	(57.0)

(注) 23表(「22-00-23」)参照

(6) 新受刑者のうち初入受刑者の保護処分歴・刑の執行猶予歴

令和4年の新受刑者のうち、初入受刑者の保護処分歴・刑の執行猶予歴別人員は、第17表のとおりである。保護処分歴を有する者は906人（14.4%）、刑の執行猶予歴を有する者は3,856人（61.4%）となっている。

第17表 初入受刑者の保護処分歴・刑の執行猶予歴別人員									
区分	総数	保護処分歴					刑の執行猶予歴		
		あり	少年院送致	第5種少年院への収容	児童自立支援施設・児童養護施設送致	保護観察なし	あり		
人員 (構成比)	6,280 (100.0)	906 (14.4)	497 (7.9)	-	27 (0.4)	382 (6.1)	5,374 (85.6)	3,856 (61.4)	

(注) 30表（「22-00-30」）参照

(7) 新受刑者のうち暴力団加入者人員

最近10年間の新受刑者のうち、暴力団加入者人員の推移は、第18表のとおりである。令和4年は前年に比べ72人減少した604人となり、新受刑者に占める構成比は4.2%となっている。

第18表 新受刑者のうち暴力団加入者人員の推移											
区分	平成25年	26	27	28	29	30	令和元年	2	3	4	
総数	22,755	21,866	21,539	20,467	19,336	18,272	17,464	16,620	16,152	14,460	
人員 (構成比)	1,889 (8.3)	1,751 (8.0)	1,439 (6.7)	1,386 (6.8)	1,194 (6.2)	1,088 (6.0)	913 (5.2)	775 (4.7)	676 (4.2)	604 (4.2)	

(注) 46表（「22-00-46」）参照

(1) 再入受刑者の再犯期間

区 分	総 数	再 犯 期 間													
		1 年未満		2 年未満		3 年未満		4 年未満		5 年未満		5 年以上			
		人員	(構成比)	うち、3 月未満 人員	(構成比)	人員	(構成比)	人員	(構成比)	人員	(構成比)	人員	(構成比)		
平成25年	13,233	5,177	(39.1)	1,457	(11.0)	2,804	(21.2)	1,647	(12.4)	1,007	(7.6)	742	(5.6)	1,856	(14.0)
26	12,833	4,827	(37.6)	1,377	(10.7)	2,806	(21.9)	1,604	(12.5)	962	(7.5)	774	(6.0)	1,860	(14.5)
27	12,626	4,733	(37.5)	1,334	(10.6)	2,663	(21.1)	1,577	(12.5)	1,034	(8.2)	784	(6.2)	1,835	(14.5)
28	12,018	4,465	(37.2)	1,302	(10.8)	2,492	(20.7)	1,598	(13.3)	998	(8.3)	764	(6.4)	1,701	(14.2)
29	11,325	4,228	(37.3)	1,228	(10.8)	2,357	(20.8)	1,425	(12.6)	952	(8.4)	722	(6.4)	1,641	(14.5)
30	10,788	3,967	(36.8)	1,115	(10.3)	2,279	(21.1)	1,307	(12.1)	905	(8.4)	687	(6.4)	1,643	(15.2)
令和元年	10,041	3,699	(36.8)	1,079	(10.7)	2,105	(21.0)	1,265	(12.6)	834	(8.3)	584	(5.8)	1,554	(15.5)
2	9,487	3,314	(34.9)	925	(9.8)	2,020	(21.3)	1,257	(13.2)	840	(8.9)	554	(5.8)	1,502	(15.8)
3	9,045	3,107	(34.4)	852	(9.4)	1,808	(20.0)	1,253	(13.9)	789	(8.7)	624	(6.9)	1,464	(16.2)
4	8,033	2,843	(35.4)	763	(9.5)	1,596	(19.9)	990	(12.3)	727	(9.1)	555	(6.9)	1,322	(16.5)

(注) 54表(「22-00-54」)参照

平成29年の出所受刑者21,998人（国際受刑者移送法により送出移送した者等を除く。）について、令和4年末までの再入状況は、第20表のとおりである。令和4年までの6年以内に再入所した者は、計8,759人（39.8%）となっている。また、「満期釈放」と「仮釈放」の別に6年以内再入者を比較すると、「満期釈放」は4,573人（49.5%）、「仮釈放」は4,186人（32.8%）となっている。

出所事由	平成29 年出所 受刑者	第20表 平成29年出所受刑者及び令和元年までの再入年別及び構成比							計					
		平成29年		30		令和元年		2		3		4		
		人 員 (構成比)	人 員 (構成比)	人 員 (構成比)	人 員 (構成比)	人 員 (構成比)	人 員 (構成比)	人 員 (構成比)		人 員 (構成比)	人 員 (構成比)	人 員 (構成比)		
総 数	21,998	854 (3.9)	2,858 (13.0)	2,197 (10.0)	1,366 (6.2)	900 (4.1)	584 (2.7)	8,759 (39.8)						
満期釈放	9,238	675 (7.3)	1,673 (18.1)	1,023 (11.1)	585 (6.3)	378 (4.1)	239 (2.6)	4,573 (49.5)						
仮釈放	12,760	179 (1.4)	1,185 (9.3)	1,174 (9.2)	781 (6.1)	522 (4.1)	345 (2.7)	4,186 (32.8)						

2 63表（「22-00-63」）及び64表（「22-00-64」）参照

出所後 6 年以内に再入所した者（出所受刑者のうち、国際受刑者移送法により送出移送した者等を除く。）の推移は、第 21 表のとおりである。再入率については、平成 11 年出所者から低下傾向が続いていたが、近年は横ばいである。

区 分		第21表 出所後も5年以内に再入所した者の推移									
		平成20年	21	22	23	24	25	26	27	28	29
出 所 受 刑 者 (うち、再入人員)		31,632 (13,365)	30,178 (12,659)	29,446 (12,079)	28,558 (11,819)	27,463 (11,254)	26,510 (10,824)	24,651 (10,111)	23,523 (9,409)	22,909 (9,027)	21,998 (8,759)
再 入 率		42.3	41.9	41.0	41.4	41.0	40.8	41.0	40.0	39.4	39.8

(注) 63表(「22-00-63」)及び64表(「22-00-64」)参照

4 出所受刑者

(1) 出所受刑者の人員及び出所事由

最近 10 年間の出所受刑者の出所事由別人員の推移は、第 22 表のとおりである。令和 4 年における出所受刑者人員の総数は 17,143 人であり、前年に比べ 666 人（3.7%）減少している。男女別に見ると、男が 15,365 人（95.5%）と減少しているものの、女が 1,778 人（103.6%）と増加している。さらに、出所事由別に見ると、満期釈放が 6,293 人（36.7%）、実刑期終了（一部猶予あり）が 187 人（1.1%）、仮釈放（一部猶予なし）が 9,635 人（56.2%）、仮釈放（一部猶予あり）が 1,001 人（5.8%）、国際受刑者移送法による送出受刑者等が 27 人（0.2%）となっている。

第22表 出所受刑者の出所事由別人員の推移											
区	分	平成25年	26	27	28	29	30	令和元年	2	3	4
人	総	26,535	24,684	23,566	22,947	22,025	21,060	19,993	18,931	17,809	17,143
	男女	24,186	22,459	21,293	20,738	19,824	19,010	18,095	17,039	16,093	15,365
指	数	2,349	2,225	2,273	2,209	2,201	2,050	1,898	1,892	1,716	1,778
	男女	100	93	89	86	83	79	75	71	67	65
出	所	100	93	88	86	82	79	75	70	67	64
	男女	100	95	97	94	94	87	81	81	73	76
出 所 事 由 別											
満 期 釈 放		11,887	10,726	9,953	9,649	9,159	8,523	8,018	7,440	6,676	6,293
（ 構 成 比 ）		(44.8)	(43.5)	(42.2)	(42.0)	(41.6)	(40.5)	(40.1)	(39.3)	(37.5)	(36.7)
実 刑 期 終 了		-	-	-	-	79	210	295	288	287	187
（一部猶予あり）											
（ 構 成 比 ）		(-)	(-)	(-)	(-)	(0.4)	(1.0)	(1.5)	(1.5)	(1.6)	(1.1)
仮 釈 放		14,623	13,925	13,570	13,260	12,477	11,307	10,442	9,994	9,740	9,635
（一部猶予なし）											
（ 構 成 比 ）		(55.1)	(56.4)	(57.6)	(57.8)	(56.9)	(54.0)	(52.2)	(52.8)	(54.7)	(56.2)
仮 釈 放		-	-	-	-	283	992	1,198	1,201	1,090	1,001
（一部猶予あり）											
（ 構 成 比 ）		(-)	(-)	(-)	(-)	(1.3)	(4.7)	(6.0)	(6.3)	(6.1)	(5.8)
送 出 移 送 等		25	33	43	38	27	28	40	8	16	27
（ 構 成 比 ）		(0.1)	(0.1)	(0.2)	(0.2)	(0.1)	(0.1)	(0.2)	(0.0)	(0.1)	(0.2)

（注） 67表（「22-00-67」）参照

(2) 出所受刑者のうち仮釈放者の刑の執行状況

ア 有期懲役受刑者

令和 4 年における有期懲役受刑者のうち仮釈放者 10,474 人（仮釈放が取り消されて刑の執行を受け、更に仮釈放を許された者を除く。）についての刑の執行率は、第 23 表のとおりである。刑の執行率 80～89%が 4,776 人（45.6%）と最も多く、次いで、90%以上が 3,613 人（34.5%）となっている。

第23表 有期懲役受刑者のうち仮釈放者の刑の執行率							
区	分	総	刑 の 執 行 率				
			59%以下	60～69%	70～79%	80～89%	90%以上
人	員	10,474	1	146	1,938	4,776	3,613
	（ 構 成 比 ）	(100.0)	0.0	(1.4)	(18.5)	(45.6)	(34.5)
対 前 年 比		-1.6	-	2.8	-2.7	0.1	-3.4

（注） 70表（「22-00-70」）参照

有期懲役受刑者の仮釈放者のうち、刑の執行率 80%以上の者についての刑期別人員は、第 24 表のとおりである。総数では 8,391 人（80.1%）、刑期 1 年以下では 789 人（87.0%）、2 年以下では 2,904 人（76.7%）、3 年以下では 2,499 人（77.7%）となっており、令和 3 年の総数 8,474 人（79.9%）と比べて執行率の高い者の割合がや

や増加している。

第24表 有期懲役受刑者の仮釈放者のうち刑の執行率80%以上の刑期別人員

区 分	総 数	刑 期				
		1 年以下	2 年以下	3 年以下	5 年以下	5 年を超える
有期懲役仮釈放者 うち、刑の執行率 80%以上の人員	10,474	906	3,787	3,215	1,920	646
有期懲役仮釈放者 に占める比率	8,389	788	2,903	2,499	1,576	623
	80.1	87.0	76.7	77.7	82.1	96.4

(注) 70表(「22-00-70」)参照

イ 無期懲役受刑者

令和4年における無期懲役受刑者のうち仮釈放者(仮釈放が取り消されて刑の執行を受け、更に仮釈放を許された者を除く。)5人について、その受刑在所期間は、第25表のとおりである。仮釈放者の平均受刑在所期間は約543月(45年3月)である。

第25表 無期懲役受刑者のうち仮釈放者の受刑在所期間

区 分	総 数	14年以下	15年以下	16年以下	17年以下	18年以下	19年以下	20年以下	20年を超える
人 員	5	-	-	-	-	-	-	-	5
(構成比)	(100.0)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(100.0)

(注) 69表(「22-00-69」)参照

(3) 出所受刑者の刑務作業及び職業訓練など

令和4年における出所受刑者について、その在所時の刑務作業の業種別就業人員は、第26表のとおりである。業種別に見ると、経理作業(刑務所などの自主運営に必要な作業で、炊事、清掃、介助などの作業)が3,822人(22.3%)と最も多く、次いで、織物製品製造が2,153人(12.6%)、化学製品製造が1,808人(10.5%)、紙・紙製品製造が1,654人(9.6%)の順となっている。

第26表 出所受刑者の刑務作業の業種別就業人員

業 種	人 員	構成比	人員の対前年比
総 数	17,143	100.0	-3.7
農 耕 ・ 牧 畜 造	88	0.5	2.3
金 属 材 料 製 造	246	1.4	28.1
金 属 加 工 ・ 機 械 組 立 修 理	883	5.2	-28.4
電 気 器 具 組 立 修 理	374	2.2	3.0
製 糸 ・ 紡 績	30	0.2	-25.0
織 物 製 品 製 造	2,153	12.6	-1.2
木 工	653	3.8	-5.1
紙 ・ 紙 製 品 製 造	1,654	9.6	-11.2
印 刷 ・ 製 本	205	1.2	-23.5
ゴ ム ・ 可 塑 物 製 品 製 造	336	2.0	22.6
皮 革 ・ 皮 革 製 品 製 造	266	1.6	-1.1
食 料 製 品 製 造	213	1.2	29.1
化 学 製 品 製 造	1,808	10.5	-3.5
建 設 作 業	31	0.2	-16.2
紙 の 他 の 技 能 工	968	5.6	-22.1
そ の 他 の 技 能 工	183	1.1	-32.0
サ ー ビ ス 工 業	62	0.4	-10.1
経 理 作 業	3,822	22.3	0.4
そ の 他	3,153	18.4	9.7
不 就 業	15	0.1	-16.7

(注) 72表(「22-00-72」)参照

令和4年における出所受刑者の職業訓練種目別人員は、第27表のとおりである。総数3,137人（出所受刑者総数の18.3%）の受講種目の主な内訳を見ると、フォークリフト運転が331人（10.6%）と最も多く、次いで、情報処理が305人（9.7%）、ホームヘルパーが175（5.6%）、溶接が162人（5.2%）の順となっている。

第27表 出所受刑者の職業訓練種目別人員		
業種	種数	構成比
総	3,137	100.0
フォークリフト運転	331	10.6
情報処理	305	9.7
溶接	155	4.9
ホームヘルパー	162	5.2
建設機械	175	5.6
販売	128	4.1
CAD技術	110	3.5
ビルハウスクリーニング	100	3.2
農業園芸	52	1.7
内装	41	1.3
小型建設機械	30	1.0
自動車整備	48	1.5
建築塗装	35	1.1
電気通信設備	33	1.1
建設機械（クレーン運転）	41	1.3
建設機械（クレーン運転）	36	1.1
その他	8	0.3
その他	15	0.5
その他	1,199	38.2
その他	133	4.2

（注）73表（「22-00-73」）参照

令和4年における出所受刑者が取得した資格・免許の種類別人員は、第28表のとおりである。総数2,017人（出所受刑者総数の11.8%）の資格・免許の主な内訳を見ると、フォークリフト運転者が358人（17.7%）と最も多く、次いで、技能検定・技能照査が178人（8.8%）、技能講習が167人（8.3%）、溶接技術者が114人（5.7%）の順となっている。

第28表 出所受刑者が取得した資格・免許の種類別人員		
種類	人員	構成比
総	2,017	100.0
フォークリフト運転者	358	17.7
技能講習	167	8.3
技能検定・技能照査	178	8.8
危険物取扱者	86	4.3
溶接技術者	114	5.7
ボイラー技士	104	5.2
パソコン検定	95	4.7
CAD利用技術者	87	4.3
ホームヘルパー	104	5.2
車両系建設機械運転技能者	56	2.8
特別教	63	3.1
理容師	31	1.5
情報処理技術者	59	2.9
クレーン運転士	15	0.7
玉掛け技能者	24	1.2
自動車整備士	26	1.3
電気工事士	26	1.3
ワープロ検定	63	3.1
クレーニング師	13	0.6
その他	348	17.3

（注）74表（「22-00-74」）参照

(4) 出所受刑者の帰住先

令和4年における出所受刑者（満期釈放者及び仮釈放者）の出所事由別の帰住先は、第29表のとおりである。総数で見ると、親族のもとが7,315人（42.7%）と最も多く、次いで、更生保護施設等が4,121人（24.1%）、知人のもとが1,419人（8.3%）の順となっている。出所事由別で見ると、「満期釈放」では、親族のもとが1,730人（26.7%）と最も多く、次いで、知人のもとが477人（7.4%）となっている。「仮釈放」では、親族のもとが5,585人（52.5%）、次いで、更生保護施設等が3,660人（34.4%）の順となっている。

第29表 出所受刑者の出所事由別の帰住先

帰住先	総数		満期釈放		仮釈放	
	人員	(構成比)	人員	(構成比)	人員	(構成比)
総数	17,116	(100.0)	6,480	(100.0)	10,636	(100.0)
親族のもと	7,315	(42.7)	1,730	(26.7)	5,585	(52.5)
父、母のもと	4,498	(26.3)	957	(14.8)	3,541	(33.3)
配偶者のもと	1,448	(8.5)	400	(6.2)	1,048	(9.9)
兄弟、姉妹のもと	714	(4.2)	212	(3.3)	502	(4.7)
その他の親族のもと	655	(3.8)	161	(2.5)	494	(4.6)
知人のもと	1,419	(8.3)	477	(7.4)	942	(8.9)
雇主のもと	450	(2.6)	183	(2.8)	267	(2.5)
社会福祉施設	462	(2.7)	392	(6.0)	70	(0.7)
更生保護施設等	4,121	(24.1)	461	(7.1)	3,660	(34.4)
上記に含まれない自宅	519	(3.0)	512	(7.9)	7	(0.1)
その他	2,830	(16.5)	2,725	(42.1)	105	(1.0)

(注) 1 「満期釈放」は実刑期終了（一部猶予あり）を含み、「仮釈放」は仮釈放（一部猶予あり）を含む。

2 84表（「22-00-84」）参照

(5) 出所受刑者の懲罰回数

令和4年における出所受刑者の初入・再入別懲罰回数は、第30表のとおりである。在所時に懲罰を受けた者は7,205人（出所受刑者総数の42.0%）となっている。初入・再入別で見ると、初入で懲罰を受けた者は2,823人（出所受刑者のうち初入者総数の39.4%）であり、再入で懲罰を受けた者は4,382人（出所受刑者のうち再入者総数の43.9%）となっている。

第30表 出所受刑者の初入・再入別懲罰回数

区分	総数	1回	2回	3回	4回	5回	6回以上	なし
総数 (構成比)	17,143 (100)	3,101 (18.1)	1,327 (7.7)	627 (3.7)	435 (2.5)	300 (1.7)	1,415 (8.3)	9,938 (58.0)
初入 (構成比)	7,161 (100)	1,329 (18.6)	551 (7.7)	239 (3.3)	160 (2.2)	101 (1.4)	443 (6.2)	4,338 (60.6)
再入 (構成比)	9,982 (100)	1,772 (17.8)	776 (7.8)	388 (3.9)	275 (2.8)	199 (2.0)	972 (9.7)	5,600 (56.1)

(注) 79表（「22-00-79」）参照

5 休養患者 — 被収容者のり病状況

令和4年における休養患者（医師の診断を受けた者のうち、医療上の必要により病室又はこれに代わる室に収容されて治療を受けた者）の人員は、既決拘禁者（受刑者、死刑確定者及び労役場留置者）が16,641人（男15,301人、女1,340人）、未決拘禁者（被告人、被疑者など）が2,166人（男2,032人、女134人）である。

このうち、既決拘禁者についての主要病名別転帰事由別人員は、第31表のとおりである。病名別で見ると、新型コロナウイルス感染症2019が8,613人（51.8%）と最も多く、次いで、呼吸器系の疾患が1,515人（9.1%）、筋骨格系・結合組織の疾患が894人（5.4%）、消化器

系の疾患が 874 人（5.3％）の順となっている。総数を転帰事由別に見ると、治癒又は軽快が 14,702 人（88.3％）、後遺が 1,108 人（6.7％）の順となっている。

なお、休養患者の平均日病日は、既決拘禁者が 40 日、未決拘禁者が 98 日となっている。

第31表 休養患者の主要病名別転帰事由別人員（既決拘禁者）

病名	総数	構成比	総数	転 帰 事 由				
				治癒又は軽快	死亡	未治出所	後遺	その他
総数	16,641	100.0	16,641	14,702	272	277	1,108	282
			(100.0)	(88.3)	(1.6)	(1.7)	(6.7)	(1.7)
感染症・寄生虫症	600	3.6	600	559	4	8	13	16
			(100.0)	(93.2)	(0.7)	(1.3)	(2.2)	(2.7)
新生物	488	2.9	488	198	84	39	98	69
			(100.0)	(40.6)	(17.2)	(8.0)	(20.1)	(14.1)
内分泌・栄養・代謝疾患	207	1.2	207	157	5	10	21	14
			(100.0)	(75.8)	(2.4)	(4.8)	(10.1)	(6.8)
精神・行動の障害	518	3.1	518	264	7	57	161	29
			(100.0)	(51.0)	(1.4)	(11.0)	(31.1)	(5.6)
神経系の疾患	160	1.0	160	129	7	11	10	3
			(100.0)	(80.6)	(4.4)	(6.9)	(6.3)	(1.9)
循環器系の疾患	385	2.3	385	239	50	19	48	29
			(100.0)	(62.1)	(13.0)	(4.9)	(12.5)	(7.5)
呼吸器系の疾患	1,515	9.1	1,515	1,442	24	10	30	9
			(100.0)	(95.2)	(1.6)	(0.7)	(2.0)	(0.6)
消化器系の疾患	874	5.3	874	761	28	14	39	32
			(100.0)	(87.1)	(3.2)	(1.6)	(4.5)	(3.7)
皮膚・皮下組織の疾患	265	1.6	265	239	2	4	13	7
			(100.0)	(90.2)	(0.8)	(1.5)	(4.9)	(2.6)
筋骨格系・結合組織の疾患	894	5.4	894	834	3	14	35	8
			(100.0)	(93.3)	(0.3)	(1.6)	(3.9)	(0.9)
腎尿路生殖器系の疾患	267	1.6	267	174	8	26	47	12
			(100.0)	(65.2)	(3.0)	(9.7)	(17.6)	(4.5)
損傷・中毒	175	1.1	175	142	13	7	8	5
			(100.0)	(81.1)	(7.4)	(4.0)	(4.6)	(2.9)
コロナウイルス感染症2019	8,613	51.8	8,613	7,985	12	45	541	30
			(100.0)	(92.7)	(0.1)	(0.5)	(6.3)	(0.3)
その他	1,680	10.1	1,680	1,579	25	13	44	19
			(100.0)	(94.0)	(1.5)	(0.8)	(2.6)	(1.1)

- (注) 1 既決拘禁者について調査したものである。
2 「未治出所」とは、治癒に至らないうちに満期釈放、仮釈放、刑の執行停止等により出所した者をいう。
3 「後遺」とは、12月31日現在において未治癒の者をいう。
4 「その他」とは、他の矯正施設に移送になった者等をいう。
5 () 内の数字は、各病名に対する転帰事由別構成比である。
6 88表（「22-00-88」）参照

休養患者のうち、コロナウイルス感染症2019についての転帰事由別人員は、第32表のとおりであり、同感染症による休養患者の総数は、9,134 人（男 8,818 人、女 316 人）であ

第32表 コロナウイルス感染症2019による休養患者の転帰事由別人員

区分	総数	構成比	総数	転 帰 事 由				
				治癒又は軽快	死亡	未治出所	後遺	その他
総数	9,134	100.0	9,134	8,410	27	49	616	32
			(100.0)	(92.1)	(0.3)	(0.5)	(6.7)	(0.4)
既決拘禁者	8,613	94.3	8,613	7,985	12	45	541	30
			(100.0)	(92.7)	(0.1)	(0.5)	(6.3)	(0.3)
未決拘禁者	521	5.7	521	425	15	4	75	2
			(100.0)	(81.6)	(2.9)	(0.8)	(14.4)	(0.4)

- (注) 1 「未治出所」とは、治癒に至らないうちに所した者をいう。
2 「後遺」とは、12月31日現在において未治癒の者をいう。
3 「その他」とは、他の矯正施設に移送になった者等をいう。
4 () 内の数字は、各区分に対する転帰事由別構成比である。
5 88表（「22-00-88」）及び89表（「22-00-89」）参照